

【議案第 29 号】令和 4 年度鯖江市一般会計補正予算 第 1 号

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業等に該当しない困窮世帯等に対する支援策については、検討しているのか？

問 今回の先議案件である子育て世帯生活支援特別給付金給付事業をはじめ、6月補正予算として提案のあった生活困窮者自立支援事業や住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業は、いずれも100%の国庫事業である。しかしながら、これらの給付金事業等には該当しない世帯もある中、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化することで、困窮している世帯は多く、多岐にわたると考えられる。こうした国が対象としないところをきめ細やかに支援していくのが、市の役割ではないか。

答 担当部署とは、予算要求に向けて、しっかりと協議を重ねてきたところであるが、今後は更に状況を見定め、密に議論を重ねていきたい。

【議案第 30 号】令和 4 年度鯖江市一般会計補正予算 第 2 号

鯖江アオハル思い出事業の対象者は、それで妥当なのか？

問 新型コロナウイルス感染症拡大で、昨年度に卒業した生徒も学校生活に影響を受けたと思われるが、なぜ、今年度に高校等の卒業を予定している生徒たちを対象としたのか。

答 昨年度までに卒業した生徒とは異なり、今年度に卒業を予定している生徒は、入学時から3年間の学校生活全てにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けるため、対象とした。

問 高校生自身や保護者から、学校生活での楽しい思い出づくりのために支援が欲しいといった要望があったのか。

答 高校生自身や保護者からの直接的な要望ではなく、学校側から市に対し、生徒の新たな学びと思い出づくりのための支援をお願いしたいとの意見をいただいた。



コロナ禍にあっても、できる限りの思い出を

【議案第 30 号】令和 4 年度鯖江市一般会計補正予算 第 2 号

コミュニティバスを新たに購入するのか？

説明 宝くじを財源とした自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、小型バス1台を更新する事業。今年度当初予算にて計上している小型バス1台および中型バス1台と合わせ、計3台のバスを更新したい。



問 車両の購入方法はどのように考えているのか。

答 市内販売業者に配慮した上での入札を検討していく。

問 車両にがたつきが感じられるものもあるが、適正に整備しているのか。

答 車両の点検整備については、バスの運行を受託している各事業者が、法定点検はもとより、日頃から定期点検や日常点検を行っている。また、市も独自に定期的な車両点検を実施しており、今後も運行事業者と連携しながら適正な車両整備に努めていきたい。